

令和5年第1回川本町議会臨時会会議録

(第1日目) 令和5年1月27日 午後 2時00分開議

議 長	定刻となりましたので、ただいまから令和5年第1回川本町議会臨時会を開会いたします。
々	ただいまの出席議員数は、9名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。
々	それではただちに、本日の会議を開きます。 本日の議事日程は、お手元に配付しているとおります。
々	日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。 会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により議長におきまして、5番木村議員、6番石川議員を指名いたします。
々	日程第2、「会期の決定」の件を議題といたします。 本臨時会の会期は、あらかじめ議会運営委員会により協議されておりますとおります。本日1日限りとしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり) 異議なしと認めます。
々	よって、本臨時会の会期は、本日1日間とすることに決定いたしました。
々	お諮りいたします。 本議会における会議録の作成において、発言中の単純な言い間違いなどについては、発言の趣旨を変更しない範囲で議長において訂正したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり) 異議なしと認めます。
々	よって、そのように「決定」いたしました。
々	日程第3、「町長あいさつ」を行います。 番外野坂町長。

<p>番外 野坂町長</p>	<p>本日、令和5年第1回川本町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてからはや3年が経過した中、昨秋から全国で拡大しております第8波もここに来て、減少の兆しが見えてきております。こうした中、本日、新型コロナ政府対策本部において、現在2類相当とされている感染症法上の位置付けを、5月8日から季節性インフルエンザ等と同等の5類に引き下げることが決定される運びとなっております。この動きに伴う段階的な移行が必要とされている医療体制や、公費支援などの措置の検討、調整の方向をしっかりと注視してまいります。このたび、昨年末に成立した国の第二次補正予算案に盛り込まれました、今年度の出産を経済的に支援する出産子育て応援交付金に呼応した補正予算案を取りまとめました。また、全員協議会におきましては、令和5年度の当初予算編成に向けまして、各課から出されました予算要求のうち、治水減災対策、人口減少対策、デジタル化推進に資する新規・主要事業(案)につきまして、ご協議させていただく予定としております。それぞれに対しまして、皆様からいただきますご意見、ご提案を踏まえ、令和5年度の当初予算案を固めてまいりたいと存じます。</p>
	<p>本日ご提案申し上げます案件は、補正予算案件1件でございます。議員の皆様には、何卒よろしくご審議のほどお願い申し上げます。</p>
<p>議 長</p>	<p>以上で、町長あいさつを終わります。</p> <p>執行部から議案の提案理由の説明を求めますが、今議会におきましては、提案説明者からの議案書の朗読は省略いたします。それでは、執行部から提案理由の説明を求めます。</p>
<p>々</p>	<p>日程第4、「議案第1号」について説明を求めます。番外湯浅総務財政課長。</p>
<p>番外湯浅総 務財政課長</p>	<p>「議案第1号、令和4年度川本町一般会計補正予算(第1号)」について、説明いたします。</p> <p>今回の補正は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれに11,895千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ4,808,533千円とするものです。補正の内容につきましては、資料13ページをお願いいたします。</p> <p>今回の補正は、特に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実績見込みによる増減、国の出産・子育て支援事業を計上しております。</p> <p>まず歳出から説明いたします。</p> <p>2款総務費及び3款民生費は、交付金事業の実績見込みによるものです。4款衛生費では、出産・子育て応援交付金事業は、国の新たな子育て対策として、令</p>

番外湯浅総務財政課長 和4年度に妊娠届提出の妊婦、出産された養育者に対して支給するもので、2,207千円を計上しています。6款農林水産業費及び7款商工費は、交付金事業の実績見込みによるものです。8款土木費では、除雪作業などの今後の見込みによる不足額15,135千円を計上しております。10款教育費は、交付金事業の実績見込みによるものです。

歳入でございますが、10款地方交付税は、物価高騰対策など臨時経済対策費が創設され、追加交付決定による44,144千円。14款国庫支出金及び15款県支出金では、歳入で説明いたしました出産子育て応援交付金の国1,896千円、県472千円を計上しております。18款繰入金では、今回の補正の財源調整後の収入残額を財政調整基金に34,017千円充てることとします。

次に、14ページの基金の状況ですが、今回の補正を見込んだ年度末の基金残高は、2,260,396千円と見込んでおります。

次の15ページをご覧ください。新規事業の出産子育て応援交付金事業です。これは国の2022年度第二次補正予算で制度化されたもので、妊婦や子育て世帯が安心して出産子育てができるよう支援するものです。概要ですが、伴走型相談支援として、妊娠から出産・子育てまでの相談支援と、妊娠届時とそれから出生届後に、それぞれ5万円を給付するものです。予算額は2,207千円で、財源は国3分の2、県・町がそれぞれ6分の1となっております。

次の16ページ以降でございますが、今回の補正で今後の支出見込みにより補正した後のコロナ交付金事業一覧となっております。事業費を補正したのは先ほどの予算説明資料のとおりです。

事業費の総額ですが19ページ、最後の項目をご覧ください。総額が147,958千円。内訳ですが、そのうち交付金が交付限度額の142,805千円。国・県補助が3,750千円、一般財源を1,403千円充てております。説明は以上でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

議 長 以上で、執行部からの提案理由の説明を終わります。

々 それでは、「議案第1号、令和4年度川本町一般会計補正予算(第5号)」について質疑を行います。質疑はありませんか。ありませんか。はい、8番。

8番 飯田議員 農林水産費の新型コロナ臨時交付金についてお伺いをします。これ不用額で21千円出ておりますが、これは例の飼料代の高騰、そして肥料代の高騰の5%の支援ということでした。これちょっと確かめてみたら、飼料代の方は11項の申請が出て、これが全部終わって、21千円の不用額が出たということですが、肥料代の支援の方は、これは水稻、昨年作付されて米価の下

8 番
飯田議員 落によって、去年200円、一袋200円の補償されたと。そこの方を中心的に個人農家が85戸、それから認定農家、新規就業者が9戸、それと農業法人組合5戸、そこれに充てられた約354万の件なんです、これは今、肥料の高騰に対しての支援が確定してるのは、個人が6戸、団体が先ほど言うた団体が1戸、金額にして54,900円ぐらいしか、これまだ申請が出てない支援がされてないという状況であります。これは、コロナの蔓延によって高騰した肥料の補填にあたらなければならないもの。これは農業の水稲やられてる方、大変今、困っている状況にあるんだけど、実際にはそこまで支援が行ってない。これをもっと周知をしていただいて、この交付金、該当される皆さんのところへ速やかに支援ができるように、もっと取り組みをしていただきたい。課長の思いというか、意見を聞かせてください。

議 長 番外名原産業振興課長。

番外名原産業振興課長 肥料代の支援につきましては、一応こちらの方でもですね周知を徹底するというところで、個別にいろいろ声掛けもいたしましたし、働きかけの方向性ってきたというふうに認識しております。秋肥についてはあまり取り込まれる農家さんが少ないということも聞いておりますので、今度春日につきましてはまた、多くですね、また取り込まれる農業者さんおられると思いますので、今回はまだ確定はしませんが引き続き周知徹底の方はしてまいりたいというふうに考えております。

議 長 8番飯田議員。

8 番
飯田議員 先ほど言ったように、この支援は大変困っておられる農家があるためにこのコロナの交付金が出たということですので、これをもっと周知をしていただいて、速やかに支援ができるような体制をこれからも執ってください。よろしくお願いします。

議 長 答弁よろしいですか。
(「はい、いいです」の声あり)
他にありませんか。3番圓山議員。

3 番
圓山議員 事業継続支援持続化補助金事業なんですけども、8,427千円がコロナ交付金から予算の配分をされてるんですけども、一般財源から1,403千円出てるんですけども、この事業って本当にコロナの直轄したというか、そ

3 番
圓山議員 | のコロナウイルス感染症対応してもらわなくちゃいけない事業なので、一般
予算から一般財源から出なくても、コロナの交付金から全額出しても良かった
ようなものじゃないかなと思うんですけども、どうでしょうか。ちょっと
お聞きします。

議 長 番外湯浅総務財政課長。

番外湯浅総
務財政課長 | 議員おっしゃられた1, 400千円の一般財源のことをですよね。はい。
この一般財源をここに充当している理由なんです、マクロな交付金の交付
限度額が142, 000千円ぐらいありまして、今回事業が28事業ありま
すが、最終的な交付限度額に各事業の合計が合うといいますか、そういった
予算上の都合です、1, 400千円ほどやや多めにつけております。こ
れすべて、先ほど言われた持続化補助金の部分というわけではなくてです
ね、はい、全体で1, 400千円、一般財源を充ててるといふふうに認識し
ていただければと思います。

議 長 はい、3番圓山議員。

3 番 帳じりを合わせたという形になるわけですね、言ったら。

圓山議員

議 長 番外湯浅総務財政課長。

番外湯浅総
務財政課長 | やや、そういう形だと、いふふうに理解していただければと思います。
（「はい、分かりました」の声あり）

議 長 他ありませんか。
（「ありません」の声あり）
質疑なしと認めます。質疑を終結いたします。

々 これより討論を行います。討論はありませんか。
（「ありません」の声あり）
討論なしと認めます。討論を終結いたします。

々 これより採決に入ります。この採決は挙手により行います。
「議案第1号」に賛成の皆さんの挙手を求めます。
挙手「全員」であります。

